

聞^{キテ}蟬^{せみヲ}感^{かんズ}懷^{おもヒヲ}

賈^カ島^{たう}

新¹蟬^{たちまチ}忽^ス発^ス最^モ高^キ枝

不^ズ覺^エ立^{チテ}聽^ク無^キ限^リ時

正^ニ遇^{アフ}友^ノ人^ノ来^{タリテ}告^{グルニ}別^{レヲ}

一^一心^{カレテ}分^{ナス}作^ス両²般^ノ悲^{シミヲ}

(賈^カ浪^{らう}仙^{せん}長^{ちやう}江^{かう}集^{しふ})

賈島 七七九年〜八四三年。字は浪仙。中

唐の詩人。初め出家して無本といい、後に還俗した。韓愈に師事し、「賈浪仙体」とも呼ばれる一字一句に苦吟を重ねる詩風で知られる。

1 新蟬 夏の初めの蟬。

2 両般 二とおり。